

令和 5 年度 福島中学校 シラバス

学 年	I	教 科	国 語	担 当	幸 大祐・中三川 千尋	時 数	140
-----	---	-----	-----	-----	-------------	-----	-----

◆教科の目標

国語の特質を理解し適切に用い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うと共に、言葉がもつ価値を認識し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を育む。
--

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣 旨	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

◆年間指導計画

月	領域	単 元 名 【 時 間 】	学習内容	観点別評価の規準 【知】(知識・理解)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考・判断・表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」 「自らの学習を調整しようとする」態度	評価方法
4 月	Ⅰ 学びを開く	《読む分野》 『野原はうたう』 【3時間】	・詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読する。・詩に表現された語句の意味に注意する。 <SDGs15>	【知】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 【主】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	【知】 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
5 月		《読む分野》 『シンシュン』 【8 時間】	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	【知】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話 や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている 。 【思】場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 【主】場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。	【知】 ・ワークシート ・ ペーパーテスト 【思】 ・ペーパーテスト 【主】 ・授業内でのグループワーク
		《書く分野 》 『情報を整理して書こう わかりやすく説明する』 【8 時間】	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ・目的や意図に応じて日常生活の中から題材を決め、集めた 材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	【知】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 【思】「書くこと」において目的や意図に応じて日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 【主】集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
6 月	2 新しい視点へ	《読む分野》 『ダイコンは大きな根?』 【8 時間】	・段落の役割に着目しながら、事実と意見を読み分け、文章の内容を捉える。 ・筆者の説明のしかたの工夫について考える。 ・身近なものについて説明された文章を読み、文章の中で使われている言葉の意味や内容を捉える。<SDGs 15>	【知】身近な「野菜」について書かれた文章に関心をもち、段落ごとの内容をまとめようとしている。 【思】・それぞれの段落の中心となる内容を要約している。問題提起の段落や、根拠を述べている段落など、段落の役割の違いに気づき、筆者の工夫を理解している。 【主】段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。	【知】 ・ワークシート ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		《読む分野》 『ちょっと立ち止まって』 【8 時間】	・文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。 ・筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げる。文脈における語句の意味を的確に捉える。	【知】図を使って説明された文章に興味をもち、文章と図を対応させて読もうとしている。 【思】筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げ ている。文章と図の関連や段落の効果を捉えて、内容を理解している。 【主】指示する語句が表す部分を適切に読み取っている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
7 月		《話すこと・聞くことの分野》 「話の構成を工夫しよう」 【8 時間】	・話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理し、相手の反応を踏まえながら紹介する。 ・声の大きさや話す速さなど、話し方を意識して聞き手にわかりやすい紹介をする。	【知】「スピーチの例」を参考にして、1分以内で自分が伝えたいことをスピーチにしようとしている。 【思】「スピーチの例」の 構成を基に、自分の思いや考えを、聞き手に伝わるように話している。 【主】話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・スピーチの内容 【主】 ・発表に用いた資料
9 月	3 言葉をつなぐ	《読む分野》 「詩の世界」 【7 時間】	・詩を読んで、語句の意味を的確に捉え、内容を理解する。 ・詩の表現の特徴を捉えて読み、描かれた情景を想像する。	【知】興味や関心をもって、詩を読もうとしている。 【思】詩の表現から作者の思いに触れている。詩の情景を想像しながら朗読している。 【主】3編の詩の形や表現の特徴に着目しながら朗読している。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート ・創作活動 【主】 ・創作活動
		《読む分野》 「大人になれなかった弟たちに…」 【8 時間】	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる 。<SDGs2>	【知】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 【思】「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 【主】登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・授業内でのグループワーク 【主】 ・ワークシート
	4 心の動き	「星の花が降るころに」 【8 時間】	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	【知・技】比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。 【思】「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 【主】進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・授業内でのグループワーク 【主】 ・ワークシート

10月	5 道筋を立てて	《読む分野》 「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」 【8時間】	・原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ・文章の構成や展開について, 根拠を明確にして考えることができる。 <SDGs15>	【知】原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思】「読むこと」において, 文章の構成や展開について, 根拠を明確にして考えている。 【主】文章の構成や展開について粘り強く考え, 学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		《書く分野》 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く 【8時間】	・比較や分類, 関係づけなどの情報の整理のしかた, 引用のしかたや出典の示し方について理解を深め, それらを使うことができる。 ・書く内容の中心が明確になるように, 段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。	【知】比較や分類, 関係づけなどの情報の整理のしかた, 引用のしかたや出典の示し方について理解を深め, それらを使っている。 【思】「書くこと」において, 書く内容の中心が明確になるように, 段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 【主】文章の構成や展開を粘り強く考え, 学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート ・創作活動 【主】 ・創作活動
11月	6 いにしえの心に触れる	《話す・聞く分野》 話題や展開を捉えて話し合おう 【8時間】	・意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。 ・話題や展開を捉えながら話し合い, 互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。	【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係を理解している。 【思】「話すこと・聞くこと」において, 話題や展開を捉えながら話し合い, 互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 【主】積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ, 学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。	【思】 ・ワークシート ・グループワーク 【主】 ・グループワー
		《古典分野》 「蓬萊の珠の枝―竹取物語から」 【10時間】	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り, 古文を音読し, 古典特有のリズムを通して, 古典の世界に親しむことができる。 ・場面の展開や登場人物の相互関係, 心情の変化などについて, 描写を基に捉えることができる。<SDGs4>	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り, 古文を音読し, 古典特有のリズムを通して, 古典の世界に親しんでいる。 【思】「読むこと」において, 場面の展開や登場人物の相互関係, 心情の変化などについて, 描写を基に捉えている。 【主】進んで古文を音読し, 学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート
		《古典分野》 「今に生きる言葉― 故事成語」 【6時間】	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り, 漢文を音読し, 古典特有のリズムを通して, 古典の世界に親しむことができる。 ・文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものにするすることができる。<SDGs4>	【知】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り, 漢文を音読し, 古典特有のリズムを通して, 古典の世界に親しんでいる。 【思】「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものになっている。 【主】積極的に漢文を音読し, 今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・授業内でのグループワーク
12月	7 す 価値を見いだす	《読む分野》 「「不便」の価値を見つめ直す」 【8時間】	・比較や分類, 関係づけなどの情報の整理のしかた, 引用のしかたや出典の示し方について理解を深め, それらを使うことができる。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し, 内容を解釈することができる。	【知】原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思】「読むこと」において, 目的に応じて必要な情報に着目して要約し, 内容を解釈している。 【主】積極的に必要な情報に着目して要約し, 自分の考えを文章にまとめようとしている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・授業内でのグループワーク
1月	8 自分を見つめる	《読む分野》 「少年の日の思い出」 【8時間】	・事象や行為, 心情を表す語句の量を増すとともに, 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・文章の構成や展開, 表現の効果について, 根拠を明確にして考えることができる	【知】語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使い, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の効果について, 根拠を明確にして考えている。 【主】文章の構成や展開, 表現の効果について積極的に考え, 学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・授業内でのグループワーク 【主】 ・ワークシート
2月		《読む・書く分野》 「随筆二編」 「構成や描写を工夫して書こう」 【10時間】	・事象や行為, 心情を表す語句の量を増やすとともに, 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・書く内容の中心が明確になるように, 段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。	【知】事象や行為, 心情を表す語句の量を増すとともに, 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「書くこと」において, 書く内容の中心が明確になるように, 段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 【主】粘り強く文章の構成や展開を考え, 学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート ・創作活動 【主】 ・創作活動
3月		《話す・聞く分野》 「1年間の学びを振り返ろう」 【8時間】	・比較や分類, 関係づけなどの情報の整理のしかた, 引用のしかたや出典の示し方について理解を深め, それらを使うことができる。 ・相手の反応を踏まえながら, 自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	【知】音声の働きや仕組みについて, 理解を深めている。 【思】「話すこと・聞くこと」において, 相手の反応を踏まえながら, 自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】集めた材料を積極的に整理し, 今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ, 発表しようとしている	【知】 ・ワークシート 【思】 ・スピーチの内容 【主】 ・発表に用いた資料